

◎スモモヒメシンクイ 最重点防除期間（5月中旬～6月上旬）  
 シンクイ越冬世代の密度を減らすため、防除を徹底して下さい。  
 生育は、平岡地区の太陽満開が4/17と平年より3日早く経過しています。5月中旬からスモモヒメシンクイの重点防除期間を迎えます。第3回目（落花後）の散布以降は防除間隔10日を目安に散布を徹底して下さい。また、今後も気象情報に十分注意し、防霜対策に備えて下さい。

プラム（2回分の防除を掲載）

【第4回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病、ケムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類

散布時期	・5月5日～5月15日（第3回定期散布（落花後）から10日後）	
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布日 ____月 ____日  散布量 _____ℓ
	展着剤 10mℓ	
	サムコルフロアブル 10 40mℓ（3日前、3回）	
	ウララDF 50g（7日前、2回）	
	マイコシールド 50g（21日前、3回）	
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	5月末までの農薬散布は葉・果実ともに軟弱なため、時間帯・薬液量等、十分注意する。	

【第5回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）

散布時期	・5月15日～5月25日（第4回定期散布から10日後）	
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布日 ____5月 ____日  散布量 _____ℓ
	展着剤 10mℓ	
	劇モスピラン顆粒水溶剤 25g（前日、3回）	
	劇イカズチWDG 66g（前日、2回）	
	アグレプト水和剤 100g（30日前、2回）	
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	①アグレプト水和剤は、ぶどう（ <u>ワインぶどう含む</u> ）にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。②【カイガラムシ対策】アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。	

## 2. プルーン

【第3回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病（かいよう病）ハダニ類、シンクイムシ類

散布時期	・ 5月15日～5月24日 （落花後の散布から14日後）	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤 10mℓ アーデントフロアブル 50mℓ （前日、3回） アグレプト水和剤 100g （30日前、2回）	散布日 5月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	①アグレプト水和剤、アグリマイシン100は、ぶどう（ <u>ワインぶどう含む</u> ）にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。 ②【カイガラムシ類幼虫対策】アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。	

## 3. 「毛バタキ」の保管方法について（授粉期間終了後）

<p>① 毛バタキに残った花粉やホコリ等を十分に掃除する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプレッサーがあれば、エアーの力で残った花粉やホコリ等を掃除する。</li> <li>・中性洗剤、ぬるま湯で軽くもみ洗いし、よく濯ぐ。</li> </ul> <p>② 直射日光を避け、「日陰干し」を行ない、十分乾燥させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直射日光に当てると繊毛（センモウ）が固まってしまいます。</li> </ul> <p>③ 密封が可能な袋や箱に毛バタキを入れ、市販の防虫剤を入れてから密封し、湿気のない場所で保管する。（高温多湿を避ける）</p>
---